

ジャムズネットカナダ趣意書

1. カナダ邦人医療支援ネットワークの設立
2. 目的：邦人医療関係者間の情報交換・連携。カナダ在留邦人の医療支援。
3. 背景：カナダは日本に比べてはるかに医療アクセスが困難な状況にあり、在留邦人は苦勞を強いられている。またメンタルヘルス上の問題は言語的・文化的背景の理解が必要であるため邦人によるカウンセリングが必要であるが、人材が少なく、かつ偏在している。医務官が約1年間各地域を巡回した結果、地域によっては邦人医師・看護師・カウンセラー等が少なからず活動していることが判明した。邦人医療関係者の一部は、コミュニティ支援・ボランティア活動の一環として他地域の邦人の相談を受けても良いとの意思表示をされている。
4. ネットワークの概要
 - (1) 名称：カナダ邦人医療支援ネットワーク (JAMSNET-Canada : Japanese Medical Support Network in Canada) とする。
 - (2) 代表：傳法清 Japanese Social Services (JSS) Special Officer/Consultant とする。
 - (3) 事務局：大使館医務班として、メーリングリストの管理などを行う。
 - (4) 参加メンバー：カナダ（周辺）在住の邦人医療関係者の希望者・大使館医務班・大使館・総領事館の領事担当官とする。
 - (5) 活動内容：メーリングリストを通じて、互いの情報交換を行う。邦人からの相談を他地域の専門家に照会、あるいは、他地域での受診の場合の紹介を行うことを可能とする。随時、メンバー間の勉強会、一般邦人向け医療講演会なども行う。
 - (6) 他地域との連携：他国の同様な団体と連携することにより、他地域の医療関係者との情報交換を可能にし、照会・紹介先としても確保する。具体的にはNYのジャムズネット、NYメンタルヘルスネットワーク、ジャムズネット東京、医務官ネットワークなど。
 - (7) 有事・緊急事態の発生時：大使館・総領事館として邦人の被害状況の把握などの情報収集、邦人に対する情報発信に有効である。またテロや自然災害発生時、邦人支援のためのボランティアが必要になった状況でのリソースとしてもネットワークは有効に機能することが期待される。（テロ・大規模災害、新型インフルエンザ、ハリケーン、スノー・ストーム発生時など）
 - (8) ジャムズネットの歴史：こうした官・民協同の邦人医療支援ネットワークとしては、ジャムズネット・ニューヨークが最初である。これは2006年1月に、米国日本人医師会が中心となりNY総領事館が側面支援する形で設立された邦人医療支援ネットワークである。また帰国者を中心として2009年に立ち上がったのがジャムズネット東京である。その後ジャムズネット・アジア、ジャムズネット・ドイツ、ジャムズネット・カナダが結成され、2014年より世界の邦人支援団体の集まりとしてジャムズネット・ワールドが年一回開催されている。
(同上の趣意書は2014年1月22日の第一回ジャムズネットカナダ総会にて承認された。)



JAMSNET-CANADA

JAPANESE MEDICAL SUPPORT NETWORK IN CANADA